

《申立書記入例》

申立書の様式は定めていません。参考例示ですので、それぞれの償還（返還）が困難な理由を具体的に記入してください。

申 立 書

宮城県教育委員会 殿

令和〇年〇月〇日

奨学生住所：仙台市青葉区希望ヶ丘3-8-1

奨学生氏名：山川 太郎 ㊞

奨学生番号：32000200300

例1：高等学校・大学等を卒業・退学等後無職・無収入・低収入の場合

『私は卒業後〇〇でアルバイトをしておりますが、毎月の収入は〇万円程度で、年収は〇〇円と少なく、生活もままならない状況です。主として父親の収入により生活をしており、健康保険も父親の被扶養者となっています

新たな仕事を探していますが、なかなか見つからないため、現状では奨学金の返済が難しいので、償還の猶予をお願いします。』

例2：自宅学習で進学準備中の場合

『私は現在大学受験準備のため自宅学習中であり収入がありませんので、奨学金の返還が困難です。償還の猶予をお願いします。』

※添付書類：申立書・健康保険証の写し（本人が被扶養者であること）

例3：収入が少なく償還が困難な場合

『私は昨年勤務先を退職し、その後就職先を探していましたが、まだ職が決まらずアルバイトをしています。収入は月に13万円前後で、賞与はありません。家賃、食費、光熱水費等がかかり、奨学金の返還が困難ですので、償還の猶予をお願いします。最近の収入状況は同封した3ヶ月分の給与明細の通りです。』

※添付書類：申立書・最近3ヶ月分の給与明細書の写し